

も・み・じ

111

発行：放送大学福島学習センター
機関誌

〒963-8025

郡山市桑野1丁目22-21

TEL 024-921-7471

いわきサテライトスペース

TEL 0246-22-7318

<https://www.ouj.ac.jp>

ーもみじの由来ー

福島学習センターの建物は、もみじ館と呼ばれ、郡山女子大学発祥の地である。青葉の頃、紅葉の時期それぞれに美しい色どりが心をなぐさめる。当センター機関誌の名称としてまことにふさわしい。

重要！

お知らせ



◆面接授業や学習センター等の重要な情報については、システムWAKABA及び福島学習センターウェブサイトに掲載いたしますので、必ず週に1度はチェックするようにしてください。

◆学習センター閉所日について

毎週月曜日及び祝日・10月14日(火)・11月4日(火)・12月30日(火)～31日(水)

あわせて『利用の手引き』の日程表もご確認ください。1月以降の臨時閉所日については、次号の『もみじ』でお知らせします。

(2023年度から、いわきサテライトスペースの閉所日は祝日等以外、月・火曜日となっております)

◆通信指導について

通信指導については『学生生活の栞』(学部68ページ以下、大学院73ページ以下)で必ず確認してください。実施方法は2024年度第2学期より、原則Web提出となりました(郵送提出科目のみ郵送提出)。履修科目の通信指導問題は10月上旬に授業共有ファイル(システムWAKABA⇒授業サポート⇒授業共有ファイル)にアップロードされます。

提出期間はWeb通信指導による提出の場合、2025年11月6日(木)10:00～11月26日(水)17:00(郵送による提出の場合、2025年11月12日(水)～11月26日(水)必着)です。郵送提出問題が11月5日(水)までに届かなかった場合は大学本部(043-276-5111[学生サポートセンター])に連絡してください。

◆学生証・駐車場利用許可証の発行について

学生証は福島学習センター・いわきサテライトスペースともに、10月4日(土)から学生証の発行をいたします。詳しくは『利用の手引き』で確認してください。また、福島学習センターの駐車場を利用する場合についても、『利用の手引き』にて確認してください(なお、福島学習センターウェブサイト内の「アクセス」で駐車場利用許可証交付願がダウンロードできます)。

◆機関誌『もみじ』及び『利用の手引き』の配付方法について

配付方法については、福島学習センターウェブサイト内の「機関誌紹介」(下記URL)に配付方法が掲載されています。配付希望の方はウェブサイト参照の上、お手続きをしてください。
<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukushima/about/magazine.html>



「教養」と「学び」

放送大学福島学習センター客員教授 五十嵐 敦

ある就業者調査で「学ばない日本の雇用者」という見出しがありました。JILPTの調査(2025)では、2023年の1年間に仕事に関わる自己啓発を行った人の割合が14.9%でした。本人の意識の問題だけでしょうか、人手不足のなかでの長時間労働、実際の仕事に結びつかないといった問題もあるようです。

ここで「自己啓発」、あるいは「学び」をどうとらえるかが問われます。学ぶことのイメージに注意する必要があります。仕事に直結しなくとも、日常生活や働く現場で私たちは多くのことを学んでいます。周りの人との対話を通じて、いろいろ考えることもあるでしょう。日常の発見や気づきを通じて学んでいるはずです。ただし身の回りのデータのとらえ方には気をつけたいですね。勝手に都合よく考えたり、偏ったりすることには気をつけたいものです。

そのために必要なのが「教養」でしょう。「教養」についてはさまざまな定義があるようですが、ここでは情報リテラシーとします。であれば、冒頭のデータについても受け止め方を考える必要があります。身の回りにある様々なデータ、飛び交う情報などいずれも受け取る側の錯覚や思い込みになっているかもしれません。エコーチェンバー^(注1)とかフィルターバブル^(注2)とか、情報の偏りや思い込みの危険性について指摘されています。いつの間にか考え方や行動が左右されていることもあります。例えば、高齢者の自動車運転中の交通事故は10代後半や20代に比べて圧倒的に少ないですし、国内の外国人による犯罪は減少しています。ニュースやネットなどから受ける印象とは大きく異なっています。

「教養」は、すぐに役立たなくとも、これまで考えもしなかったことや注意を向けなかったことに、新しい気づきや驚きを得ることかもしれません。視野の拡大なども期待されます。そこで必要な要素のひとつが「読み書き」でしょう。フェイクニュースとか誤った情報が流布する中で、それらをどのように読み解くか、その能力が問われます。経済協力機構(OECD)の「成人スキル調査」によると、調査対象の約5人に1人(18%)が「読み書き」「計算」「適応問題解決」という3つの能力すべてでスコアが低く、全体でも「読み書き能力」は10年前に比べ停滞か低下傾向にあるとのことでした。国や文化による違いはあるものの、「個人と社会の両方が繁栄するために必要な、重要な情報処理スキル」とされています。

ChatGPTなどで手軽に文章が作られる時代、考えることも省力化され、一般的で常識的な記述にとどまることでタイパやコスパは良いのかもしれませんが、私たちの暮らしや社会が幸せになるかどうかは疑わしい限りです。人々が「読み書き」、そして考える力を大切にすることこそが「教養」であり、吟味したり考えたりするためのゆとりが必要ですね。筆者がかかわる職場の安全衛生でも、「教養」に裏づけられた学びの余裕が必要ようです。

(注1) 同じ意見や情報だけが反響し合い、異なる考えが排除されることで、偏った認識や信念が強化される環境や現象

(注2) 検索エンジンやSNSのアルゴリズムが利用者の関心や行動に基づいて情報を取捨選択する結果、利用者が自分に都合のよい情報ばかりに囲まれ、異なる意見や多様な情報に触れにくくなる現象

令和7年度 第2学期 ゼミのお知らせ

テーマ 「物質文化研究の諸問題」



会場

福島学習センター

會田 容弘 先生

講義概要

5年間客員教授を務めて、考古学のお話しをしてきました。最後に至って、考古学の研究対象である物質資料について、みなさんと意見交換をしたくなりました。物質文化とは「モノ」です。人間に関わり合ったモノもあれば、まったく関わりのないモノ（自然物）があります。人間が自分の「モノ」にするためには技術が必要でした。そんなことをお話ししましょう。

—ゼミの受講について—

ゼミは、客員教員がテーマに沿って授業を行います。ただし、面接授業とは違い、一方的に授業をすすめるものではありません。学生さんとの対話をしながら授業を行っていきます。

1回ごとに行われていますので、途中からでも参加できます。ゼミを受講する場合の申し込み・授業料は不要です。正規の単位にはなりません。積極的な参加をお待ちしております。

※都合により、日程が変更になる場合があります。その都度、当センターWebページへの掲載及び館内掲示にてお知らせいたします。なお、日程の確認は電話での問い合わせも可能です。

- 10月19日(日) 13:00~14:30 石の話。硬い話です。石を割って、道具として使ったのはヒトです。石の話をしてみましょう。
- 10月25日(土) 13:00~14:30 粘土の話。粘土に熱を加えることで、化学変化をもたらし、固化しました。それにより様々な造形が可能になるのですが、生活の道具、土器が生まれます。
- 11月8日(土) 13:00~14:30 有機質(皮・鹿角・牙・骨)の話。その持ち主は、食べ物だった。肉は食べれても、食べられない部分がある。食べないで残したのかもしれない。
- 11月15日(土) 13:00~14:30 有機質(木・樹皮・樹液)の話。日本人は森との付き合いが長いので、森に生きる様々なモノを食料としました。食料にならないものを道具として使ったのです。
- 12月6日(土) 13:00~14:30 無機質(ガラス・宝石類)の話。光物を人類は大好きでした。天然ガラスの黒曜石を道具の材料にしたり、ヒスイをアクセサリにしたりしました。それから、人類は探し求めます。
- 12月14日(日) 15:00~16:30 金属(銅・鉄)の話。鉱物に熱を加えて、純粋な物質を抽出したり、合わせ技で合金を作ったり。最初は農具、武器なのでしょうか。それを使って様々な道具を作り出します。
- 1月10日(土) 13:00~14:30 手に負えない物質の話。大きなもの、重いもの、硬いもの、よくわからないもの、それらと人間が向かい合ったとき、どーなるのでしょうか。

テーマ 「身の回りを心理学から のぞいてみると…」



会場

福島学習センター

五十嵐 敦 先生

講義概要

またまた日本心理学会刊行「心理学ワールド」の記事を、参加された皆さんと読み解きたいと思います。各回取り上げる記事は、日本心理学会のホームページからダウンロードできます。事前に目を通していただくと、皆さんとの対話もより一層楽しめるかと思います。時には脱線しながら、担当者と一緒に学びたいと思います。興味のあるテーマの回だけでも気楽にご参加ください。

- 10月5日(日) 15:00~16:30 偏見の自己制御
＜心理学ワールド＞ 52 2011
- 10月26日(日) 10:00~11:30 テレビ番組が増幅させる血液型差別
＜心理学ワールド＞ 52 2011
- 11月9日(日) 13:00~14:30 「健康」概念はどこにいくなのか
＜心理学ワールド＞ 103 2023
- 11月16日(日) 10:00~11:30 文化と健康・病・ウェルビーイング
＜心理学ワールド＞ 103 2023
- 12月6日(土) 15:00~16:30 老いに伴う「弱み」と「強み」
＜心理学ワールド＞ 100 2023
- 12月13日(土) 15:00~16:30 心理学の犯罪捜査への応用における倫理的・社会的・法的な問題
＜心理学ワールド＞ 107 2024
- 12月27日(土) 13:00~14:30 心理学の知見を活かした証言の聴取
— 司法面接の取り組み
＜心理学ワールド＞ 107 2024

テーマ 「品質管理入門(その2)」



会場

福島学習センター

石川 友保 先生

講義概要

私たちの身の回りには様々な商品やサービスがあります。そして、それらについて話題にすると「品質が高い。期待通りの品質だ」というときがあると思います。それでは、このときの「品質」とは何でしょうか？本ゼミでは、品質の調べ方や新QC7つ道具などを、身近な事例を交えつつ紹介します。

- 10月5日(日) 10:00~11:30 品質の調べ方(検査)
- 10月19日(日) 10:00~11:30 品質に関する約束事(品質保証)
- 11月2日(日) 10:00~11:30 新QC7つ道具(親和図法)
- 11月30日(日) 10:00~11:30 新QC7つ道具(連関図法、系統図法)
- 12月14日(日) 10:00~11:30 新QC7つ道具(マトリックス図法、アロー・ダイアグラム)
- 12月28日(日) 10:00~11:30 新QC7つ道具(PDPC法、マトリックス・データ解析法)
- 1月11日(日) 10:00~11:30 企業における品質管理活動(総合的品質管理)

—ゼミの受講について—

ゼミは、客員教員がテーマに沿って授業を行います。

ただし、面接授業とは違い、一方的に授業をすすめるものではありません。学生さんと対話をしながら授業を行っていきます。

1回ごとに行われていますので、途中からでも参加できます。ゼミを受講する場合の申し込み・授業料は不要です。正規の単位にはなりません。積極的な参加をお待ちしております。

※都合により、日程が変更になる場合があります。その都度、当センターWebページへの掲載及び館内掲示にてお知らせいたします。なお、日程の確認は電話での問い合わせも可能です。

テーマ 「英国の文学を通して社会と文化と人びとを読む(その6)」



高田 英和 先生

会場 福島学習センター

講義概要

令和7年度の2学期も、1学期に引き続いて、近現代の、英国の、文学を読みます。文学テキストを通して、時代背景および社会／文化的な事象(愛情、友愛、逃避など)を同時に深めていきます。また、映像等を用いて文学作品の受容について、さらには、可能であれば文学の成立・制度化とその意義に関しても、考察します。授業では、各自、予習してきたものをもとに、質疑応答・ディスカッション等の活動を、主体的に行なっていきます。

- 1 10月18日(土) はじめに
10:00~11:30 —授業概要の説明、作品／作者とその時代について
- 2 10月25日(土) 英文学と社会①
10:00~11:30 —都会と田舎
- 3 11月8日(土) 英文学と社会②
10:00~11:30 —人間と動物
- 4 11月22日(土) イギリス文学と文化①
10:00~11:30 —性愛と友情
- 5 12月6日(土) イギリス文学と文化②
10:00~11:30 —束縛と自由
- 6 12月20日(土) 人びとの／とEnglish Literature
10:00~11:30 —国家と国民
- 7 1月10日(土) おわりに
10:00~11:30 —さまざまな国、社会／文化における受容について

テーマ 「生活の中の幸せについて」



山田 紀浩 先生

会場 いわきサテライトスペース

講義概要

生活についての短い文章を読んで生活の中での幸せについて考えます。書籍は羽仁進『僕がいちばん願うこと』岩波新書を使用し、その中から、生活について、教育について、人間世界について、生について、死についてのテーマから一つずつ抜粋し輪読します。単調な日々の暮らしを見直すきっかけになることを期待しています。そのためには書籍ばかりでなくゼミ生皆さんの視点が大切になります。活発な意見交換の中で、生活の中の幸せを検討します。

- 1 10月5日(日) オリエンテーション
10:00~11:30 生活について
六十歳からでも新しい「個」は誕生する
- 2 10月18日(土) 生活について
10:00~11:30 ド素人 VS 大職人の経験
- 3 11月8日(土) 教育について
10:00~11:30 パパはパパじゃない
- 4 11月29日(土) 人間世界について
10:00~11:30 飽くなき欲望は一線を越えつつある
- 5 12月6日(土) 生について
10:00~11:30 距離があるから愛せる
- 6 12月20日(土) 死について
10:00~11:30 死を美しく、幸せに
- 7 1月10日(土) まとめ
10:00~11:30 生活の中の幸せについて考える

所長カフェのご案内

所長カフェはコーヒー・紅茶を片手に気軽に参加できるゼミです。月1回中旬または下旬の木曜日が金曜日、13時30分~15時00分をめどに開店します。

「興味・関心のあること、疑問に思っていること等を自由に語り合いたい」、「調べてレポートにまとめてみたい」、「卒業研究にチャレンジしてみたい」等々と考えている方は少なくないかもしれません。ただ、実際に始めようとしてみると、「テーマをどのように設定したらいいのかわからない」、「自分なりの見方や考え方を持てない」と悩んでいる方もいるのではないのでしょうか。こうしたことに1人で向き合うのは簡単ではありません。そこで、2学期も所長カフェを開店し、一人一人が立てた問いや調べてきた事柄を相互に共有しながら自分なりの見方を探し・つくり・発展させる機会としたいと思います。

一緒に挑戦してみませんか。少し覗いてみようという方も歓迎します。関心のある日のみの参加でも構いません。お待ちしております。

- 10月23日(休) ガイダンスと交流
- 11月21日(金) 第1回 興味・関心を語りあう
- 12月19日(金) 第2回 課題の整理
- 1月30日(金) 第3回 課題の発展
- 2月20日(金) 第4回 発表・ラウンドテーブル



学生サークル紹介

Book Club

仲間がいればこそ

Book Club 渡部 桂子

Book Clubは英語で書かれた文学作品を輪読している同好会です。これまでに、オースティンの「説得」、ブロンテ姉妹の「ジェーン・エア」「嵐が丘」、モームの「月と六ペンス」、フィッツジェラルドの「グレート・ギャツビー」、現代文学作品のカズオ・イシグロの「日の名残り」、バイセルの「ブックセラーズ・ダイアリー」などの英米の文学作品を読んできました。

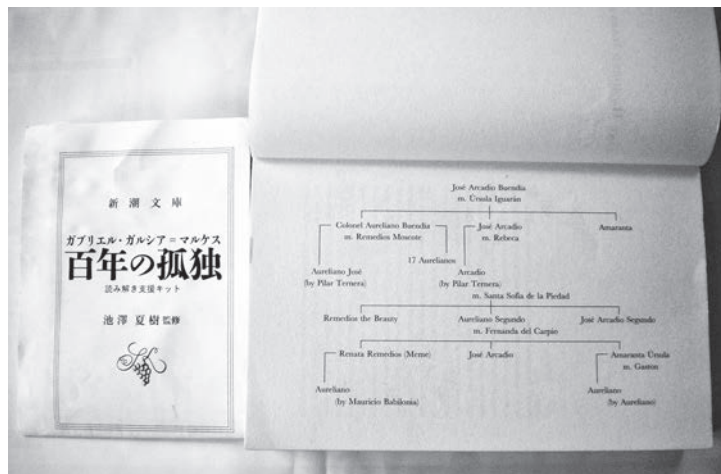
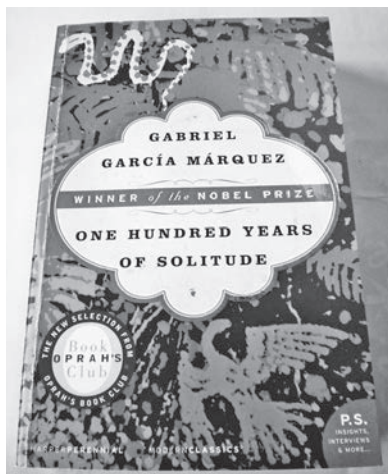
今学期は、前期から持ち越した「ブックセラーズ・ダイアリー」を読み終わり、5月半ばからは、南米コロンビアの作家ガブリエル・ガルシア=マルケスの代表作「百年の孤独」(1967年)をスペイン語から翻訳された英語版で読み始めました。英語圏以外の作品を読むのは初めての試みです。この作品は、大学の放送授業「世界文学への招待'22」でも取り上げられていますが、神話的要素と近親婚の普遍的タブーとカリブ海域の地方特性が、作家の生育環境とあいまって背景に見え隠れしている作品のようです。

実はこの作品、昨年文庫化され、飛ぶように売れているとされていますが、読み解き支援キットや家系図がついて来るような一族の繁栄と滅亡の100年を綴った壮大な物語で、400ページを超える長編小説なのです。その上、何人もの「アルカディオ」と「アウレリャノ」が何代にもわたって繰り返し登場します。私にはとても一人では読み通す自信がありません。Book Clubの皆さんと一緒に読んでみたい本を読む勇気が出るのです。

Book clubでは、各人の分担箇所があらかじめ決められていて、遠方からの参加者に便宜を図るため、学習センターでの英語ゼミ開催日程に合わせて、分担者が順番に発表する形式を採っています。このようにデッドラインが決まればモチベーションが高まり、何事も後回しにしがちな私でもなんとか当日に間に合わせることができるのです。その間に、わからないことを調べたり、疑問に思うことを抜き出したりして、Book Clubの皆さんと話し合う準備をして当日を迎えます。必ずしもその場ですべてが解決することばかりではありませんが、もつれた糸が解けるような大きなヒントを得ることも度々です。

最近、すべての作家に当てはまるかはわかりませんが、文学作品には当時の時代背景や作家の成育歴、生活環境が大きく影響しているように感じています。「百年の孤独」でも、ガルシア=マルケスの自伝「生きて、語り伝える」によれば、物心がつくころから、祖父により何百回も繰り返し語るのを聞いていたバナナ会社のスト弾圧事件が架空の土地の出来事として語られているそうです。その辺りまで読み進めるにはまだ少し時間がかかりそうですが、実際の出来事と比較しながら読んでみたいと思っています。

これからもBook Clubの一員として、仲間と一緒に多様な価値観や文化に触れる機会を得て、見聞を広めていきたいと思っています。



面接授業 開設科目一覧

2025年度第2学期福島学習センター開設科目

※空席状況発表日直後に開講する科目(主に10月開講の科目)につきましては空席がある場合、「事前申請受付」とは別に福島学習センター独自に先着順で追加登録を受け付ける場合があります。福島学習センターのウェブサイトでご確認いただくか、福島学習センターに直接お問い合わせください。

ナンバリング	科目区分	時 間	科 目 名	担当講師	実 施 日	定員	受付期限
2668769 320(中級)	専門科目 心理と教育	1 時限～4 時限 (9:30～16:40)	心理学実験 1	木暮 照正	10月18日(土) 10月19日(日)	24名	福島学習センター か福島学習センター のウェブサイトにてご確認くだ さい。
2669935 310(初級)	専門科目 社会と産業		初級経済学	和田 賢一	10月18日(土) 10月19日(日)	24名	
2669919 320(中級)	専門科目 心理と教育	1 時限～4 時限 (9:30～16:40)	探究活動のロジック	山上 裕子	10月25日(土) 10月26日(日)	24名	
2669978 320(中級)	専門科目 自然と環境		世の中で隠れて活躍する数学	笠井 博則	10月25日(土) 10月26日(日)	24名	
2669862 120(中級)	基盤科目 外国語	1 時限～4 時限 (9:30～16:40)	I・A・リチャーズの英語観	飯嶋 良太	11月1日(土) 11月2日(日)	24名	原則として開講日 7 日前(郵送の場 合は必着)
2669943 320(中級)	専門科目 人間と文化		日本文学講義	西原 志保	11月1日(土) 11月2日(日)	24名	
2668815 320(中級)	専門科目 心理と教育	1 時限～4 時限 (9:30～16:40)	心理検査法基礎実習	木暮 照正	11月8日(土) 11月9日(日)	24名	
2669951 320(中級)	専門科目 人間と文化		諸子百家の思想	渡部東一郎	11月8日(土) 11月9日(日)	24名	
2669870 110(初級)	基盤科目 外国語	1 時限～4 時限 (9:30～16:40)	韓国語入門－ハングルを読む書く	李 智恵	11月15日(土) 11月16日(日)	30名	
2669927 310(初級)	専門科目 心理と教育	1 時限～4 時限 (9:30～16:40)	教育政策	櫻井 直輝	11月29日(土) 11月30日(日)	24名	
2669986 320(中級)	専門科目 自然と環境		流域の水問題へのマネジメント	川越 清樹	11月29日(土) 11月30日(日)	24名	
2669960 320(中級)	専門科目 人間と文化	1 時限～4 時限 (9:30～16:40)	史料からみるふくしまの藩政改革	佐藤 愛未	12月6日(土) 12月7日(日)	24名	
2670003 320(中級)	専門科目 社会と産業		フードシステム：食と農をつなぐ	則藤 孝志	12月6日(土) 12月7日(日)	24名	
2669889 220(中級)	導入科目 自然と環境	1 時限～4 時限 (9:30～16:40)	放射線科学入門	山口 克彦	12月13日(土) 12月14日(日)	18名	
2669994 320(中級)	専門科目 自然と環境		歴史を通して学ぶ大学化学	大橋 弘範	12月13日(土) 12月14日(日)	24名	
2669897 320(中級)	専門科目 生活と福祉	1 時限～4 時限 (9:30～16:40)	基礎栄養学実習	源川 博久	12月20日(土) 12月21日(日)	15名	
2669900 320(中級)	専門科目 生活と福祉		公衆衛生学	伊藤 央奈	12月20日(土) 12月21日(日)	24名	

※敬称略。放送大学Webページや面接授業時間割表冊子などでシラバスの内容をご確認ください。

2025年度第2学期いわきサテライトスペース開設科目

ナンバリング	科目区分	時 間	科 目 名	担当講師	実 施 日	定員	受付期限
2670054 320(中級)	専門科目 情報	1 時限～4 時限 (9:30～16:40)	セーフティ&セキュリティ概論	高橋 雄志	11月1日(土) 11月2日(日)	24名	原則として開講日 7 日前(郵送の場 合は必着)
2670062 320(中級)	専門科目 自然と環境	1 時限～4 時限 (9:30～16:40)	資源循環と持続可能な未来	丹野 淳	11月8日(土) 11月9日(日)	24名	
2670038 320(中級)	専門科目 社会と産業	1 時限～4 時限 (9:30～16:40)	製造業とサービス業の国際化	伊藤 道大	11月29日(土) 11月30日(日)	24名	
2670020 320(中級)	専門科目 心理と教育	1 時限～4 時限 (9:30～16:40)	福祉心理学	矢本 聡	12月6日(土) 12月7日(日)	24名	
2670011 320(中級)	専門科目 生活と福祉	1 時限～4 時限 (9:30～16:40)	地域福祉を理解する	山本 美晴	12月13日(土) 12月14日(日)	24名	
2670046 320(中級)	専門科目 人間と文化	1 時限～4 時限 (9:30～16:40)	韓国と日本の現代文学を読む	姜 惠彬	12月20日(土) 12月21日(日)	24名	

※敬称略。放送大学Webページや面接授業時間割表冊子などでシラバスの内容をご確認ください。

●面接授業ウェブサイト

全ブロックの面接授業冊子をPDFで公開しています。
<https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/2/syllabus/>



●WAKABAシラバス検索

科目名やフリーワードなどを条件指定し、放送授業・オンライン授業・
 面接授業・ライブWeb授業を横断的に検索することも可能ですので、
 ぜひご利用ください。
<https://www.wakaba.ouj.ac.jp/kyoumu/syllabus/>



●面接授業を受講するにあたって

面接授業は対面式の授業です。
 教科書の指定、学生教育研究災害傷害保険加入者を対
 象としている場合、BYOD科目(パソコン持参必須)な
 ど、事前準備や持参物の指定がある科目があります。
 必ず下記資料等やWebページからシラバスを確認の
 上、科目登録を行ってください。

- ・面接授業開設科目一覧
- ・面接授業時間割表[北海道・東北ブロック]
- ・放送大学Webページ
- ・システムWAKABA
- ・学習センター掲示

2025年度第2学期面接授業科目の追加登録申請について

福島学習センターといわきサテライトスペース開設で定員に余裕がある科目について、追加登録申請を受け付けます。申請方法については、以下をご確認ください。

◆「事前申請受付」◆ 《申請者数が空席数を上回った科目は抽選になります。》

空席状況の確認	10月17日(金) 15:00 空席状況発表 面接授業ウェブサイト(第2学期)の「お知らせ」にて、全国の空席状況を確認できます。面接授業ウェブサイト(https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/2/)へは、以下のQRコードやシステムWAKABAの学内リンクからアクセスしてください。 放送大学トップページから ⇒ 在学生(WAKABA)をクリック ⇒ システムWAKABAへログイン ⇒ 学内リンクの面接授業(第2学期)のページ ⇒ お知らせの「空席状況のお知らせ」に掲載。 
事前申請	10月17日(金) 15:00～10月22日(水) 13:10 福島学習センターのウェブサイトへは、以下のURL、QRコードから検索できます。 https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukushima/ A. B. Cのいずれかの方法で申請してください。 A. <u>Googleフォーム</u>から申請(福島学習センターウェブサイト) B. 「面接授業追加登録申請書」を福島学習センター窓口へ持参 C. 「面接授業追加登録申請書」を福島学習センターへ郵送 ※(Googleフォームは期間外にアクセスすると、受け付けは終了しましたと表示されますのでご注意ください。) 
申請結果連絡	10月23日(木) 申請結果をキャンパスメール(学生番号@campus.ouj.ac.jp)でお知らせします。 ※キャンパスメールの確認方法がわからない方は、事前にお問い合わせください。
登録手続き(授業料納入)	10月30日(木) 17:00まで 登録が許可された場合、窓口または郵送により授業料を納入してください。 郵送の場合は、科目追加登録申請書、授業料、返信用封筒(110円切手貼付・宛名明記)を現金書留にてお送りください。

◆「先着申請受付」◆ 《事前申請登録後になお空席のある科目を先着順で受付します。》

空席状況の確認	10月23日(木) 15:00～ システムWAKABAにログインし、教務情報 ⇒ 科目登録申請 ⇒ 空席照会で確認できます。 システムWAKABAが見られない方は、電話でお問い合わせください。
申請および登録手続き(授業料納入)	10月23日(木) 15:00～原則として開講日7日前(郵送の場合は必着) ※学習センターの閉所日等で前後する場合があります。 ◇学習センター窓口での申請 科目追加登録申請書・学生証・授業料を持参のうえ、窓口にて申請してください。 ◇郵送での申請 科目追加登録申請書・授業料・返信用封筒(110円切手貼付・宛名明記)を現金書留にてお送りください。

◆他の学習センターで開設する科目については、当該学習センターにお問い合わせください。

年 月 日

年度 第 学期

(学習センター
サテライトスペース 開設科目)追加登録申請書

学 生 番 号			-							-	
---------	--	--	---	--	--	--	--	--	--	---	--

フ 氏	リ 氏	ガ 氏	ナ 氏	所属学習センター
連	絡	先		電 話： () メール：

一度登録した科目の変更・取消、授業料の返還はできませんので、あらかじめご了承ください。

希望	科 目 コ ー ド	クラス	科 目 名	第1回目の日程
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

○複数の学習センターへ申請する場合は本申請書をコピーするか、面接授業ウェブサイト>「追加登録」についてから申請書をダウンロードしてください。

○提出前に必ずコピーをとり保管しておいてください。

備考
